



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月2日

上場会社名 トリニティ工業株式会社
 コード番号 6382 URL <http://www.trinityind.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 玉木 利明

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 乗安 弘治

TEL 0565-24-4802

四半期報告書提出予定日 2022年2月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	24,895	4.0	1,446	1.0	1,818	11.4	1,234	8.4
2021年3月期第3四半期	25,929	2.6	1,460	25.2	1,632	23.4	1,139	19.9

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,648百万円 (32.9%) 2021年3月期第3四半期 1,240百万円 (19.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	75.21	
2021年3月期第3四半期	69.46	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	38,330	27,051	69.1	1,611.76
2021年3月期	39,108	26,000	65.0	1,550.90

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 26,487百万円 2021年3月期 25,435百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		9.00		21.00	30.00
2022年3月期		15.00			
2022年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	1.0	2,150	9.6	2,300	5.1	1,600	1.2	97.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注)詳細は、添付書類P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	18,220,000 株	2021年3月期	18,220,000 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,786,314 株	2021年3月期	1,819,314 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	16,420,366 株	2021年3月期3Q	16,400,686 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は248億9千5百万円と前年同四半期と比べ10億3千3百万円(4.0%減)の減収となりました。

営業利益は14億4千6百万円と前年同四半期と比べ1千4百万円(1.0%減)の減益、経常利益は18億1千8百万円と前年同四半期と比べ1億8千5百万円(11.4%増)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億3千4百万円と前年同四半期と比べ9千5百万円(8.4%増)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

・設備部門

設備部門は、塗装設備納入等の減少により売上高は193億2千1百万円と前年同四半期と比べ7億1千3百万円(3.6%減)の減収となったものの製品構成の改善等により、営業利益は26億1千2百万円と前年同四半期と比べ2億5千7百万円(10.9%増)の増益となりました。

・自動車部品部門

自動車部品部門は、内装部品及び外装部品の販売の減少により売上高は55億7千3百万円と前年同四半期と比べ3億1千9百万円(5.4%減)の減収、営業利益は1億2千4百万円と前年同四半期と比べ1億8千万円(59.1%減)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.6%減少し、250億6千3百万円となりました。これは、電子記録債権が5億6千9百万円増加、仕掛品が3億5千7百万円増加、その他が3億3千4百万円増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が28億5千7百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて8.1%増加し、132億6千6百万円となりました。これは、有形固定資産のその他(純額)が3億9千9百万円増加、投資その他の資産のその他が6億1百万円増加したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.0%減少し、383億3千万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて6.9%減少し、99億5千7百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が13億9千万円増加した一方、電子記録債務が6億5千1百万円減少、未払法人税等が2億9千9百万円減少、賞与引当金が3億5千9百万円減少、その他が7億5千7百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて45.2%減少し、13億2千万円となりました。これは、その他が2億2千8百万円増加した一方、役員退職慰労引当金が1億4千2百万円減少、退職給付に係る負債が11億7千5百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて14.0%減少し、112億7千8百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.0%増加し、270億5千1百万円となりました。これは、利益剰余金が6億4千4百万円増加、その他有価証券評価差額金が2億1千9百万円増加、為替換算調整勘定が1億3千2百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、2021年4月28日に公表いたしました予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,772,436	11,642,424
受取手形及び売掛金	12,844,880	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	9,987,423
電子記録債権	963,533	1,533,094
製品	45,512	45,765
仕掛品	606,299	963,588
原材料	457,934	412,248
その他	148,096	482,635
貸倒引当金	△131	△3,212
流動資産合計	26,838,561	25,063,968
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,232,097	5,226,839
その他(純額)	3,486,241	3,885,710
有形固定資産合計	8,718,338	9,112,549
無形固定資産		
投資その他の資産	133,048	144,461
その他	3,439,446	4,041,005
貸倒引当金	△20,534	△31,787
投資その他の資産合計	3,418,912	4,009,218
固定資産合計	12,270,299	13,266,230
資産合計	39,108,860	38,330,198
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,698,962	4,089,426
電子記録債務	4,255,158	3,603,253
未払法人税等	592,860	293,465
賞与引当金	729,501	369,873
役員賞与引当金	67,841	50,869
完成工事補償引当金	83,972	39,838
その他	2,268,423	1,510,697
流動負債合計	10,696,719	9,957,423
固定負債		
役員退職慰労引当金	196,292	53,624
退職給付に係る負債	1,363,967	187,997
その他	851,059	1,079,286
固定負債合計	2,411,318	1,320,908
負債合計	13,108,037	11,278,332

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,311,000	1,311,000
資本剰余金	790,542	788,694
利益剰余金	23,944,310	24,588,335
自己株式	△1,613,772	△1,584,501
株主資本合計	24,432,080	25,103,527
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,172,270	1,391,626
為替換算調整勘定	△10,589	121,668
退職給付に係る調整累計額	△157,954	△129,593
その他の包括利益累計額合計	1,003,726	1,383,700
非支配株主持分	565,016	564,636
純資産合計	26,000,822	27,051,865
負債純資産合計	39,108,860	38,330,198

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	25,929,318	24,895,605
売上原価	21,364,207	20,140,983
売上総利益	4,565,111	4,754,621
販売費及び一般管理費	3,104,361	3,308,407
営業利益	1,460,749	1,446,214
営業外収益		
受取利息	46,558	28,449
受取配当金	44,279	50,980
持分法による投資利益	52,239	194,273
雑収入	39,846	105,831
営業外収益合計	182,924	379,535
営業外費用		
支払利息	31	639
固定資産除却損	2,601	6,394
為替差損	2,890	—
投資有価証券評価損	5,721	—
雑支出	90	582
営業外費用合計	11,335	7,616
経常利益	1,632,338	1,818,133
税金等調整前四半期純利益	1,632,338	1,818,133
法人税等	466,919	544,643
四半期純利益	1,165,419	1,273,489
非支配株主に帰属する四半期純利益	26,175	38,545
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,139,243	1,234,944

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	1,165,419	1,273,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	250,021	219,355
為替換算調整勘定	△201,375	116,649
退職給付に係る調整額	43,626	28,360
持分法適用会社に対する持分相当額	△17,168	10,988
その他の包括利益合計	75,103	375,354
四半期包括利益	1,240,522	1,648,844
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,251,036	1,614,918
非支配株主に係る四半期包括利益	△10,513	33,925

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に与える影響はありません。また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響もありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	設備部門	自動車部品 部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,035,688	5,893,630	25,929,318	—	25,929,318
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	20,035,688	5,893,630	25,929,318	—	25,929,318
セグメント利益	2,355,199	304,968	2,660,167	△1,199,418	1,460,749

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,199,418千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	設備部門	自動車部品 部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,321,689	5,573,915	24,895,605	—	24,895,605
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,321,689	5,573,915	24,895,605	—	24,895,605
セグメント利益	2,612,773	124,735	2,737,508	△1,291,294	1,446,214

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,291,294千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。